

2015年度の総括

① 収支状況（表中の単位：千円）

決算見込み		予算比 (%)	前年比
収入	62,337	102.9	⇨
支出	62,989	109.3	↑
経常収支差額	-652	-21.8	↓

評価：非常勤及び役職の人件費が大幅に増えたため支出が予算より多くなり、収益があまりなかった。



② 職員配置と研修（職員数は2016年1月現在）

前副主任が退職し、新主任が配置されたが、前主任が係長に就任し、基本的にデイ業務から離れているため、常勤の体制的には厳しい。しかし昨年度後半から非常勤が増えた事もあり、何とか成り立っている。常勤・非常勤に対人援助の基本が身につけていない者もいるため、内部研修やOJTを時間をかけて行なっている。

③ 事業内容

生活リハビリのさらなる充実化を図り、今まで生活の中で出来ている利用者にもサービスとして職員が行ってきたこと（カバンを持つことやお茶入れ・配膳）を、利用者の方が出来る環境づくりや配慮を行なっていくことや利用者の方の要望（外食先になじみの高島屋を）に応えることで利用者の方の意欲的な言動が見られるようになってきた。

④ 品質管理

慣れないスタッフが多く、対応に不備も見られたが、スタッフ同士で気づき合い、利用者の声を聞き、ミーティングで課題を抽出して議論し、即座に対応を検討し対処していくことで、大きな事故やクレームに繋がることなく満足に繋げることができた。

2016年度の計画

① 予算案のポイント

費目	予算(単位:千円)	前年比	算出根拠・購入物品など
収入	62,200	⇨	前年度と同等の収入見込み
支出	60,257	↓	床面の補修、中堅職員の退職に伴う人件費の減算

② 主課題

利用者の方が遠慮なく楽しく過ごせるコミュニティーの場の提供
利用者一人一人の思いに寄り添った支援を行うためのスタッフの質の向上

③ 年間事業計画（予定）

4月	お花見ドライブ・イベント食	11月	外食・イベント食
6月	保育所交流会・イベント食	12月	クリスマス会
8月	夏祭り・イベント食	1月	新年会
9月	敬老週間	2月	イベント食
10月	外食		

作成者 島 恭子

2015 年度の総括

①収支状況（表中の単位：千円）

決算見込み		予算比 (%)	前年比
収入	57,342	103.7	↓
支出	41,073	92.7	↓
経常収支差額	16,269	148.0	↑

評価：制度改訂で当初から前年度割込み想定も稼働の確保で減を抑え、逆に職員の退職補充ができず現員でふんばり収益は大幅に回復



②職員配置と研修（職員数は2016年1月現在）

S責1名が年度途中で退職し、常勤4名（内S責3名）、非常勤20名
毎月全職員対象に学習会開催、法人研修・外部研修に参加

③ 事業内容

住み慣れたご自宅・地域での生活を続けることが出来るように、生活援助（掃除、買い物、調理、洗濯などの家事）、身体介護（通院の送迎、買い物や金融機関への同行、入浴介助、清拭、排泄介助など）のサービスの提供を行う

④ 品質管理

ヒヤリ・ハツとレポート、毎月の学習会で業務上での注意喚起、質の向上を目指す

2016 年度の計画

①予算案のポイント

費目	算(単位:千円)	前年比	算出根拠・購入物品など
収入	55,300	↓	ほぼ前年並みも制度縮減影響でやや減か
支出	44,139	↑	職員補充を10月以降でおこなうので経費増

② 主課題

常勤、各ヘルパーの質の向上
多方面から見る目、考える力をつける

③年間事業計画（予定）

毎月	ヘルパー学習会		

2015 年度の総括

①収支状況（表中の単位：千円）

決算見込み		予算比 (%)	前年比
収入	28,438	94.9	↑
支出	27,426	98.6	
経常収支差額	1,012	47.1	

評価：予算比は下回ったが、前年比は大幅に上回った。積極的な新規受け入れに努めた。



②職員配置と研修（職員数は 2016 年 1 月現在）

職員配置については、1 名他部署異動と、新人採用があり、ケースの引き継ぎを行った。研修は、法人研修以外の外部研修にも分担して参加に努めた。

③ 事業内容

2015 年度、特定事業所加算などの介護報酬改定が行われた。積極的な受け入れで、他事業所からの依頼もあり利用者数は大幅に伸びたが、予算立てが大きすぎ、カバーするに至らなかった。事業内容としては、法人内高齢部門事業所と深くかかわり、法人全体の収益向上に寄与した。

④ 品質管理

ヒヤリハットケースについて、改善策検討して、改善した。

2016 年度の計画

①予算案のポイント

費目	予算(単位:千円)	前年比	算出根拠・購入物品など
収入	29,970	↑	早期の新人獲得とスムーズな引き継ぎ、同一法人の各事業所とも連携しながら新規ケースの受け入れに努める。
支出	26,335		職員の交代による賞与漸減

② 主課題

ケアマネ 5 名体制を維持し、ご利用者をはじめ、各地域包括支援センターやサービス事業所等から信頼され高く評価される事業所を目指す。来年度も内外の研修に積極的に参加する。

③年間事業計画（予定）

年 4 回	ケアマネ通信の発行		